



【特別支援教育オンライン・スタディ・セミナー】

オンライン教材を効果的に 使うために

1

内容

- 1 オンライン教材の活用
- 2 教材の作成・編集
- 3 児童生徒の実態に応じた配慮の在り方
- 4 家庭との連携及び留意点

2

1 オンライン教材の活用

3

「ほっかいどう・チャレンジドTV」Webサイト

当センターWebページ内に「特別支援教育オンライン・スタディ・ムービー」を開設。
URL http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=667



「特別支援教育オンライン・スタディ・ムービー」

特別支援教育オンライン・スタディ・ムービー

○ 動画教材
特別な教育的支援を必要としている子供たちのオンライン学習や家庭学習を支えるための動画を、「特別支援教育YouTubeチャンネル」上で公開します。
下のバナー又はQRコードから「特別支援教育YouTubeチャンネル」にアクセスの上、チャンネル内の「再生リスト」タブから動画を閲覧してください。
※動画教材については、各学校において行っている実際の授業の様子や指導の参考となる動画を掲載しています。

特別支援教育YouTubeチャンネル 又は からアクセスしてください。
※「特別支援教育YouTubeチャンネル」は、インターネット回線のセキュリティ設定により、学校等から閲覧できない場合があります。
※学校等から閲覧できない場合は、ご家庭のインターネット回線や、スマートフォン等のLTE回線に接続したデバイスからご視聴ください。

○ オンデマンド教材
知的障がい特別支援学校の各教科の内容に関する教材を掲載します。
各教科の教材をご覧になる際は、下のバナーをクリックしそれぞれの教科のページへ移動の上をご覧ください。

【更新情報 R3.1.14】
※iOS/Android対応の動画データ視聴可能になりました。
※iOS/Android対応の動画データがうまく表示されない場合は、次の方法をお試しください。
①「映像画（アドレスバー）」右側の「A」又は「大」ボタンをタップし、表示された画面から「リーダー表示を非表示」をタップする。
②「動画データ」をタップしても、画面が白く表示され動画が再生されない場合は、①の画面を表示させ、「モバイルWebサイト」をタップする。

| | | |
|-----|-------|-----|
| 生活科 | 国語科 | 算数科 |
| 音楽科 | 図画工作科 | 体育科 |
| 作成中 | 作成中 | 作成中 |

コンテンツについて

- 動画教材
 - ・特別な教育的支援を必要とする子供たちのオンライン学習や家庭学習を支えるための動画を特別支援教育YouTubeチャンネル内に掲載
 - ・道内の特別支援学校の授業の様子や、指導の参考となる動画を掲載
- オンデマンド教材
 - ・知的障がい特別支援学校の各教科等の内容に関する教材を、当センター「特別支援教育オンライン・スタディ・ムービー」サイト内に掲載
 - ・教材のパワーポイントデータ及び動画データを掲載

①「動画教材」の活用

○ 閲覧方法

特別支援教育 YouTubeチャンネル

「動画教材」は、「特別支援教育 YouTubeチャンネル」から閲覧できます。

特別支援教育YouTubeチャンネル
チャンネル登録者数 232人

ホーム 動画 再生リスト チャンネル 検索

作成した再生リスト

動画教材は各教科又は指導形態ごとに「再生リスト」にまとめられています。道立特別支援学校の授業の様子や、指導の参考となる動画が掲載されています。

5

①「動画教材」の活用

○ 閲覧方法

特別支援教育YouTubeチャンネル

同じ再生リストに含まれる動画が右上の枠内に表示されます。(PCでの再生の場合)

画面の大きさや字幕表示など、動画再生に関する設定を行うことができます。

6

①「動画教材」の活用

○ 個に応じる工夫、具体的な生活場面に応じた活用 【小学部 図画工作科】「手の汚れない貼り絵の作り方」

【具体的な活用例①（図画工作科の授業での活用例）】

○ 動画の視聴

○ 動画視聴の目的



- ・ 作品づくりに使う道具の名称や作業工程の確認
- ・ 活動の流れに対する見通し

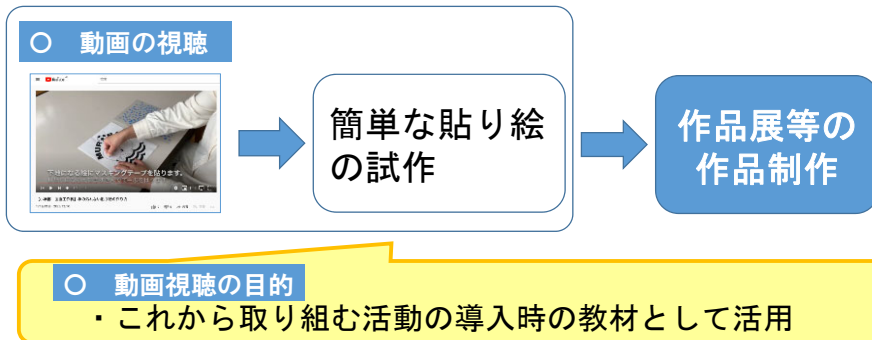
動画活用の意図を明確にすることが重要です

7

①「動画教材」の活用

○ 個に応じる工夫、具体的な生活場面に応じた活用 【小学部 図画工作科】「手の汚れない貼り絵の作り方」

【具体的な活用例②（学校行事や作品展等に向けた取組）】



8

②「オンデマンド教材」の活用

○ オンデマンド教材の閲覧方法

- ・「ほっかいどう・チャレンジTV」Webサイトから閲覧可能



○ 知的障がい特別支援学校の各教科等の内容に関する教材を掲載

- ・小学部、中学部、高等部の各教科別のバナーをクリックすることで、オンデマンド教材を閲覧できます。

※ここでは、例として「小学部 生活科」を選択します。

9

②「オンデマンド教材」の活用

○ オンデマンド教材の閲覧方法

- ※「小学部 生活科」の場合

教材は、段階別に示しています。

| ○ 1段階 | | | |
|--|---|--|---|
| 「てのあらいかた」 [パワーポイントデータ] [動画データ] | 「しぶんやみのまわりのひき」 [パワーポイントデータ] [動画データ] | 「おがね」のべんきょう [パワーポイントデータ] [動画データ] | 「みのまわりのいきもの」 [パワーポイントデータ] [動画データ] |
| ○ 2段階 | | | |
| 「みのまわりのきけん」 [パワーポイントデータ] [動画データ] | 「いろいろなかり」『そうじょうばん』 [パワーポイントデータ] [動画データ] | 「とよかのつかひかた」 [パワーポイントデータ] [動画データ] | 「にっかやこみについて」 [パワーポイントデータ] [動画データ] |
| ○ 3段階 | | | |
| 「みのまわりのきけん」 [パワーポイントデータ] [動画データ] | 「せんたくのしかた」 [パワーポイントデータ] [動画データ] | 「やさしくくたものしけん」をしよう [パワーポイントデータ] [動画データ] | 「バスやでんしゃにのるとき」のマナー [パワーポイントデータ] [動画データ] |

教材は、
・パワーポイントデータ
・動画データ
などを掲載しています。

10

②「オンデマンド教材」の活用

○ オンデマンド教材の閲覧方法

- ・小学部2段階「みのまわりのきけん」の例

「みのまわりのきけん」
[パワーポイントデータ]
[動画データ]

パワーポイントデータ

動画データ

・説明用原稿付き
・使用者による編集・改編可能

・当センターからの配信で閲覧
・ナレーション付き

11

②「オンデマンド教材」の活用

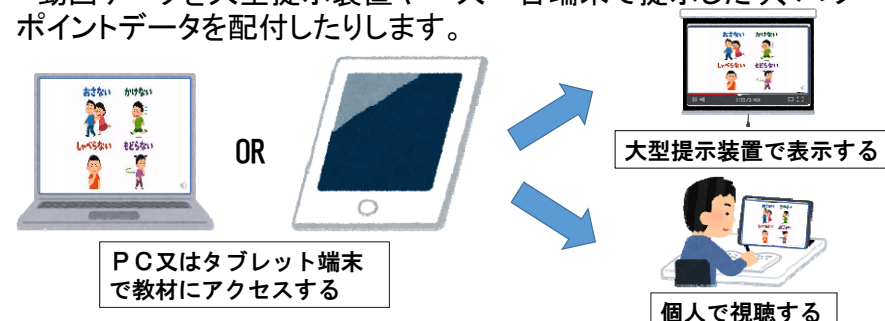
○ オンデマンド教材の活用例

- ・学校に登校して学習する際の活用方法



視覚的教材としての活用

動画データを大型提示装置や一人一台端末で提示したり、パワーポイントデータを配付したりします。

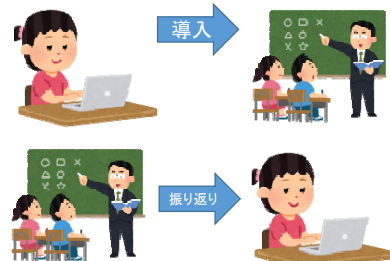


12

②「オンデマンド教材」の活用

- オンデマンド教材の活用例
 - ・ 学校に登校して学習する際の活用方法

導入又は振り返りに活用



授業の導入や、振り返りの際に活用します。

家庭教育との連携に向けた資料としての活用



学校での学習内容をお知らせするツールとして活用し、家庭教育との連携に活用します。

視聴する教材の名称やURLなどについて、事前に児童生徒及び家庭に周知します。

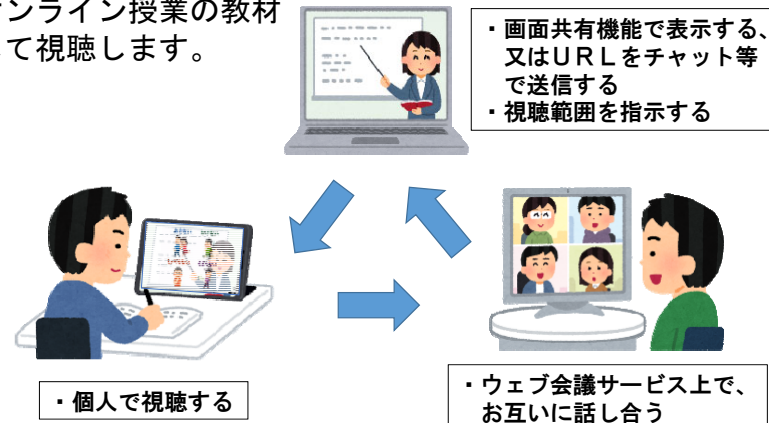
13

②「オンデマンド教材」の活用

- オンデマンド教材の活用例
 - ・ 臨時休校時などの、オンライン授業での活用方法



Zoom等のウェブ会議サービスを活用したオンライン授業の例 オンライン授業の教材として視聴します。



- ・ 画面共有機能で表示する、又はURLをチャット等で送信する
- ・ 視聴範囲を指示する

・ 個人で視聴する

・ ウェブ会議サービス上で、お互いに話し合う

14

②「オンデマンド教材」の活用

- オンデマンド教材の活用例
 - ・ 臨時休校時などの、自主学習教材としての活用

家庭における自主学習での活用

各家庭で当センターWebページにアクセスし、教材を視聴するように促します。



当センターWebページを周知する

各家庭からアクセスする

教材を視聴する

学習を振り返り、家庭等での取り組みつなげる方法を検討するようにします。

15

②「オンデマンド教材」の活用

- 個に応じる工夫、具体的な生活場面に応じた活用
 - ・ 「パワーポイントデータ」の活用



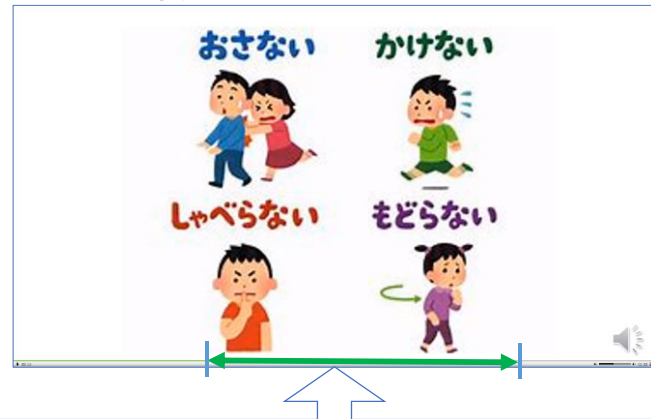
【活用方法の例】

- ①指導のねらいや取り扱う内容に応じて、使用するスライドを選択する。
- ②児童生徒の実態や授業の展開案等に応じて、スライドを編集・改竄し活用する。
- ③教材の視聴後に、実際の活動や児童の身の回りの様子についての振り返りを行うなど、実際の生活場面に則した具体的な指導となるようにする。
- ④スライドを保護者等への連絡に活用し、家庭教育との連携を図る。

16

②「オンデマンド教材」の活用

- 個に応じる工夫、具体的な生活場面に応じた活用
 - ・ 動画データの活用



【活用方法の例】

- ① 視聴が必要な部分を明確にした上で視聴させる。
- ② 授業の導入や振り返りなど、活用場面を明確に位置付ける。
- ③ 家庭教育との連携を図るためのツールとして、保護者等に案内する。